

プレスリリース

2022年4月7日  
国境なき医師団 (MSF)

## **カメルーン：不当に拘束されたスタッフの釈放を要求——南西部での医療活動を停止**

カメルーン南西部で医療活動に従事していた国境なき医師団 (MSF) のスタッフ 4 人が地元当局に拘束されてから 3 カ月が経過した。MSF は 4 月 5 日、当局との協議に進展がみられないため、同国南西部での医療・人道援助活動を停止すると発表した。MSF は、当局と合意した手続きを経た活動であったにもかかわらず、スタッフが逮捕・拘束されたことに懸念を示したうえで、即時釈放を求めるとともに、カメルーン当局が今後の方針を明らかにし、有意義な対話に取り組むよう要請する。

### **スタッフの不当な逮捕**

2021 年 12 月 27 日、銃創を負った患者を搬送していた救急車が、南西部ヌグティの検問所で止められ、同乗していた MSF のスタッフ 2 名が逮捕された。MSF の活動は当局と合意した人道援助通知手続きに従っていたにもかかわらず、スタッフは逮捕され、現在もブエア市の刑務所で公判前手続き中である。医療行為を行っただけで、分離独立派に加担したとの容疑で捜査が進められている。

その後、数週間のうちに、他の 2 人のスタッフや協力者も憲兵隊に逮捕された。拘束されたスタッフらは弁護士による法律相談を受けており、MSF はスタッフとその家族と常に連絡を取り合っている。

法的手続きと並行して、MSF の代表者は、カメルーン当局やその他の関係者など複数のレベルで協議を重ね、MSF の医療活動や手続きに関する情報を提供し、スタッフの解放を求めてきたが、大きな進展にはつながらなかった。今年 2 月、国防省に委託されてカメルーンの第三者機関がまとめた報告書では、MSF は人道主義の原則に従って行動していることから、MSF とそのスタッフは全ての不正行為から免責されるべきであり、そのスタッフは直ちに釈放されるべきという結論が発表されたが、現在の状況はこの報告書に反している。

### **行き詰まった援助活動**

「私たちは、どうしようもない状況に置かれているのです。MSF の活動を必要とする人がいる一方で、医療援助従事者は、医療行為を理由に告訴される危険を冒さなくてはなりません。患者に援助を届けるには、危害を加えられない安定した環境が大前提です。MSF は、この問題をできるだけ早く解決し、医療・人道援助活動を再開できるよう、当局と継続して対話をする必要があります」と中部アフリカで MSF のオペレーション・マネジャーを務めるシルバン・グルクスは話す。

国際的な医療援助団体として、MSF は医療倫理と国際人道法に従い、医療を必要とする全ての患者に公平に医療行為を行っている。「MSF は、スタッフと患者の安全を最大限に確保しつつ、医療と必要不可欠な人道援助を確実に届けるべく、国家および武装勢力を含む全ての紛争当事者と対話しています。カメルーンでも、世界の他の場所でも同じです。これは公平性を欠く行為でも、カメルーン英語圏で進行中の暴力の当事者との共謀でもありません」とグルクスは話す。

MSF は 1984 年にカメルーンで活動を開始。現在の活動地は極北州、南西州、首都ヤウンデ。地域や病院で医療を受けやすくするための援助のほか、外科治療、マラリア治療、新型コロナウイルス感染症治療、健康教育を行っている。2020 年にカメルーンで治療した患者は 100 万人以上に上る。2020 年 12 月、MSF の活動は北西州当局によって停止され、現在も医療援助の再開に向けて協議を続けている。MSF はカメルーン南西州で猛威を振るっているコレラの流行対応で保健省の支援も行ってた。4 月第 2 週付けで、MSF はカメルーンの英語圏全域で医療活動を止めるものとする。

以上

**本件に関するお問い合わせ先：**

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂

携帯：080-2344-0684

E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org) <https://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ\_Press